



神奈川の美しい広葉樹林

50選

ガイドマップ

国立大学法人横浜国立大学
地域連携推進機構（産学・地域連携課）

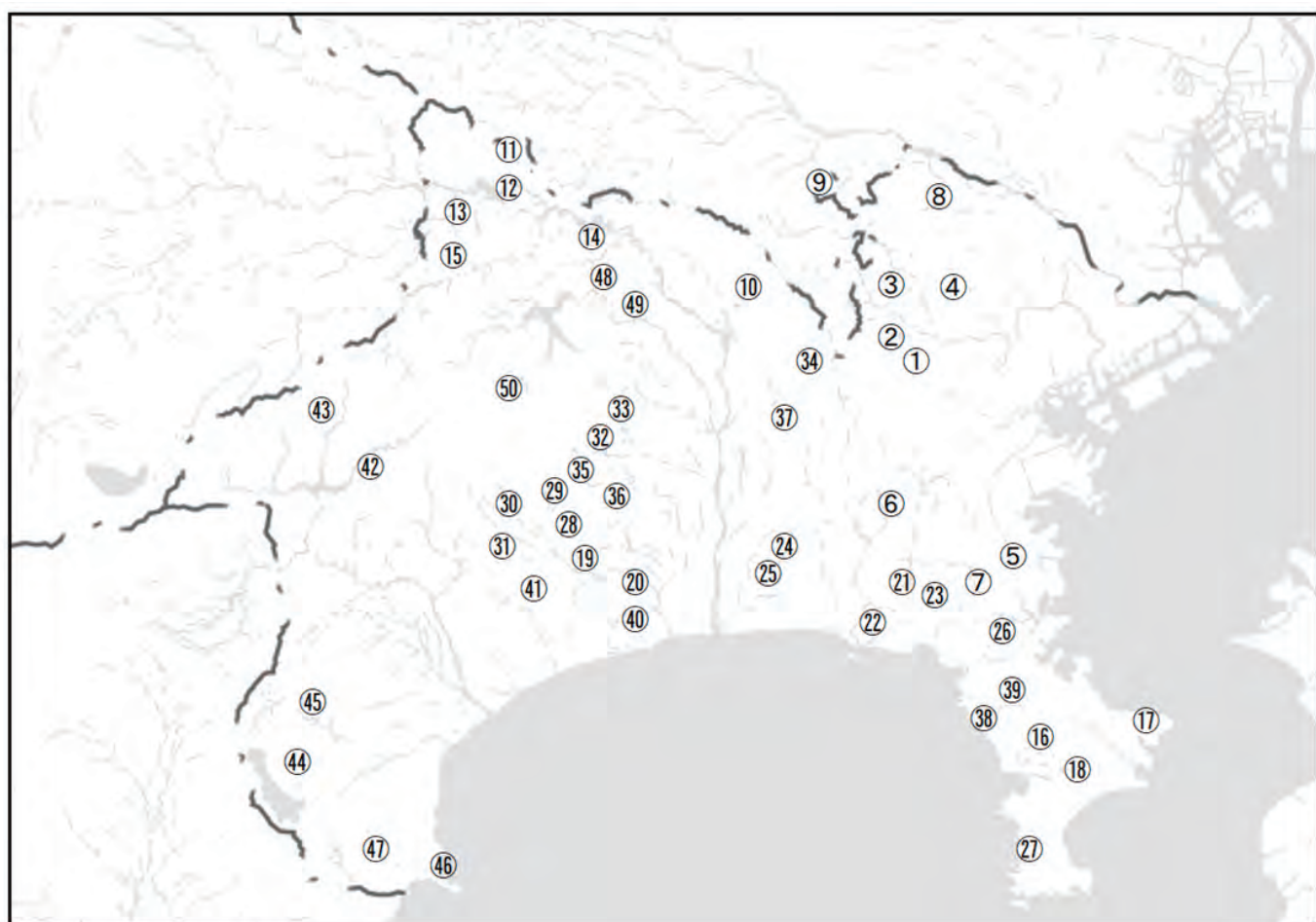
2021年11月 発行

四季折々の表情をみせる広葉樹の森。みずみずしい若葉の春、鳥のさえずり、可憐な花々、夏のセミの大合唱、あざやかな紅葉、冬でも暖かい照葉樹林。広葉樹の森を歩くと清々しい気分になるのは、私たち日本人が古来から広葉樹とともに生きてきたからだろう。だいぶ少なくなってしまったが、県内には大切に守られている広葉樹の森が各地にある。その一つ一つに多様な生態系があり、森の恵みがある。気軽に足を運んで、広葉樹林の魅力にふれていただきたい

※このガイドマップは現地調査及び公表されている資料等をもとに作成しました。最新情報は関係自治体や施設管理団体等のホームページ等で確認してください。なお、生物多様性保全の観点から、希少種については、公表されているものを除き、原則として記載していません。このガイドマップの写真はすべてオリジナルに撮影したものです。また、ガイドマップで取り上げた広葉樹林には私有地が含まれている場合があります。私有地には許可なく立ち入らないでください。

神奈川の美しい広葉樹林50選

①四季の森公園 ②新治市民の森 ③寺家ふるさとの森 ④都筑中央公園
⑤称名寺市民の森 ⑥舞岡公園[舞岡ふるさとの森周辺] ⑦円海山周辺の森 ⑧生田緑地 ⑨黒川の雑木林 ⑩木もれびの森[相模原中央緑地周辺] ⑪小松～城北[城山湖周辺] ⑫嵐山 ⑬名倉の雑木林 ⑭城山[津久井湖城山公園] ⑮石砂山 ⑯大楠山 ⑰観音崎公園 ⑱武山～三浦富士 ⑲土屋の雑木林 ⑳吉沢～鷹取山 ㉑山崎・台峯緑地[鎌倉中央公園周辺] ㉒鎌倉広町緑地 ㉓散在ガ池森林公園 ㉔遠藤笹窪谷 ㉕茅ヶ崎里山公園 ㉖神武寺～鷹取山 ㉗小網代の森 ㉘弘法山公園 ㉙名古屋木の雑木林 ㉚葛葉緑地 ㉛渋沢丘陵[震生湖～八国見山～頭高山] ㉜七沢森林公園 ㉝あつぎこどもの森公園 ㉞泉の森 ㉟大山～日向薬師 ㊱いせはら塔の山緑地公園 ㊲座間谷戸山公園 ㊳はやま三ヶ岡山緑地 ㊴森戸川流域の森 ㊵高麗山[湘南平] ㊶中井町の雑木林[中井中央公園周辺] ㊷玄倉川の溪畔林[西丹沢県民の森周辺] ㊸西沢[下棚・本棚] ㊹箱根山 ㊺金時山 ㊻真鶴半島自然公園 ㊼幕山 ㊽仏果山 ㊾八菅山 ㊿いこいの森 ㊽㊾丹沢山地[東丹沢・西丹沢]



(本ガイドマップの地図は国土地理院「地理院地図Vector(試験公開)」の白地図をベースに作成しました)

はしがき

横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏によれば、関東地方以南の標高800m以下の地域は、シイ、タブ、カシ類の常緑広葉樹を潜在自然植生とする。だが、長い歴史のなかで常緑広葉樹の森はクヌギやコナラの落葉広葉樹の林に転換され、現代の私たちは原生の森の姿をみることはできない。ただし、私たちの先祖は常緑広葉樹の深い森に畏怖・畏敬の念をいだき、森のなかに祠や社(やしろ)を建てて「鎮守の森」として大切に守ってきた。各地に残る社叢は、その土地本来の植生を伝える自然遺産であるとともに文化遺産でもある。人々が心に描くふるさとの原風景は、里山の雑木林と鎮守の森を背景とする、のどかな農村景観であろう。

だが神奈川県では、薪炭林や農用林としての用途を失った雑木林はスギやヒノキの人工林に転換され、あるいはゴルフ場や宅地開発によって姿を消していった。残った森も手入れが行われず荒廃が進んでいる。鎮守の森も周囲を住宅で埋め尽くされて孤立している。

たしかに石油化学製品は私たちに便利な生活をもたらした。しかし森との関わりを失ったことで、私たちは森の恵みへの感謝の気持ちも失ってしまったのではないだろうか。その結果、森は荒廃し、生物多様性の損失や気候変動など、これまで人類が経験したことのない危機がおとずれている。

そこで、横浜国立大学地域実践教育研究センターの研究グループは、神奈川県における広葉樹林の再生を願い、神奈川県の大学発・政策提案制度の採択を受けて「Woodyかながわ～広葉樹の活用による地域活性化と県民の健康増進～」を2019・2020年度に実施した。この「神奈川の美しい広葉樹林50選」は、この研究プロジェクトの一環としていまも県内の各地で大切に守られている美しい広葉樹林を広く県民の皆様に紹介したいと考え作成したものである。

50選の選定にあたっては、県民の皆様から推薦をいただき、それをもとに現地調査を行い決定した。事業の実施にあたっては、神奈川県環境農政局緑政部森林再生課をはじめ、多くの関係者のご協力をいただいた。ここに記して感謝する次第である。

このガイドマップが、神奈川県における広葉樹林の保全や再生に少しでも役立つことを心より願うものである。

2021年3月

横浜国立大学 地域連携推進機構
地域実践教育研究センター
神奈川の美しい広葉樹林50選選定委員会

1

大きなシラカシ林とヨシの湿原が特徴の風致公園。
草花も多い

四季の森公園（横浜市緑区・旭区）



主な樹木

シラカシ、クヌギ、コナラ、
ウワミズザクラ、イロハモミジ



緑区・旭区の里山景観を保全するために神奈川県がつくった都市公園。総面積は45.3haで、園内は里山ゾーン、自然林ゾーン、庭園ゾーンなどに区分されている。自然林ゾーンはシラカシの高木林で、谷戸の沢にはゲンジボタルが生息する。里山ゾーンはコナラやクヌギの雑木林で、四季折々の草花がみられる。園内は生態系に配慮した管理が行われており、植物や野鳥の種類も多い。歩道が整備され、バードウォッチングを楽しむ人も多い

《Check》 四季の森公園のシラカシの高木林は横浜市内では最大級。
シラカシは「ふるさとの森」エリアにもある



（シラカシ林）



アクセス

JR横浜線・市営地下鉄中山駅下車、
徒歩約15分（四季の森公園プロムナード）
（車利用の場合）四季の森公園南口
に駐車場、土日休日は有料

新治市民の森（横浜市緑区）



主な樹木

クヌギ、コナラ、ハンノキ、ミズキ、エゴノキ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物・昆虫など)、みどりの癒やしスポット、環境省重要里地里山

新治市民の森の総面積は67haで、横浜市の市民の森のなかでは最大級。クヌギやコナラの雑木林、スギやヒノキの人工林、竹林、水田や畑が複雑に入り組み、横浜の原風景ともいえる里山の景観が残っている。植物の種類も多く、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている。市民の森の入口にある「にいはる里山交流センター」(旧奥津邸)では観察会などのイベントが開催されている

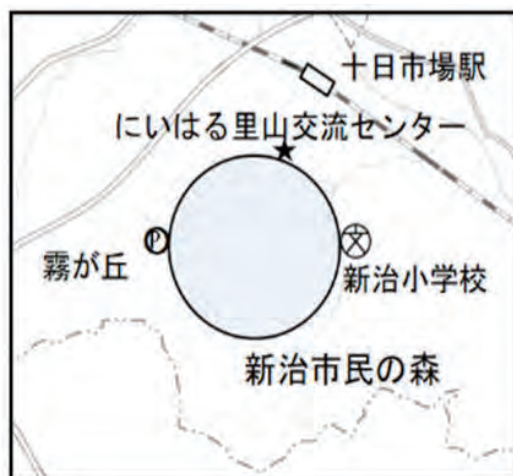
《Check》 横浜市の市民の森は横浜市独自の緑地保全制度で、山林所有者の協力により市民の憩いの場として開放している。2021年3月現在、市内には47か所の市民の森がある



(にいはる里山交流センター)

アクセス

JR横浜線十日市場駅下車、徒歩約15分(車利用の場合)みはらし広場に駐車場、土日休日のみ利用可



寺家ふるさとの森（横浜市青葉区）



主な樹木

クヌギ、コナラ、シラカシ、モミ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット（植物・昆虫など）、
かながわの探鳥地50選、環境省重要里地里山

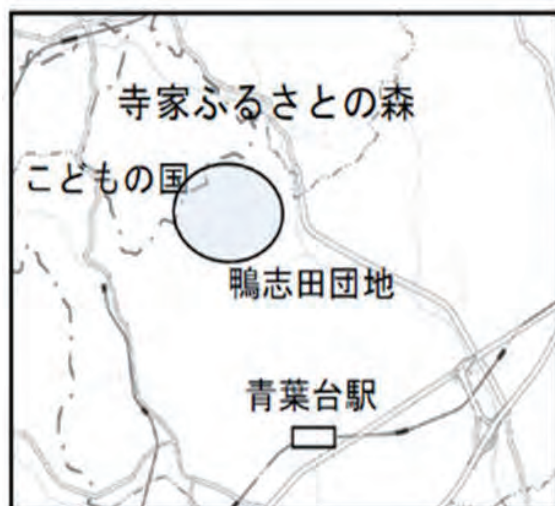


横浜市青葉区の住宅街のはずれにある農業専用地区は「寺家ふるさと村」と呼ばれている。大きな谷戸の斜面はコナラやクヌギの雑木林で、「寺家ふるさとの森」として市民に開放されている。谷戸の奥にはため池が点在し、この地域の原風景をとどめている。寺家ふるさとの森はこどもの国や東京都町田市の三輪緑地にも接しており、広大な緑地帯には希少種を含む多様な生き物が生息している。神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている

《Check》 熊野神社のモミは「かながわの名木100選」に選ばれている。寺家ふるさとの森の総合案内所「四季の家」では国の天然記念物のミヤコタナゴの飼育と展示を行っている

アクセス

東急田園都市線青葉台駅から東急バス鴨志田団地行き終点下車（車利用の場合）四季の家に駐車場、四季の家、寺家乃鰻寮、寺家ふるさと村来村者のみ利用可



都筑中央公園（横浜市都筑区）



主な樹木

コナラ、クヌギ、イヌシデ、エノキ、エゴノキ、シラカシ、ヤマザクラ



（宮谷戸の大池）

港北ニュータウンの造成にともない整備された里山公園。正面入口を入ると、目の前にクヌギやコナラの雑木林が広がる。公園内は遊歩道が整備されており、さまざまな草花を観察することができる。公園中央にある宮谷戸の大池には水鳥もやってくる。ばじょうじ谷戸にはNPO法人都筑里山倶楽部が管理する瀟洒な休憩舎がある。



《Check》 近くにある横浜歴史博物館にも立ち寄りたい。古代の人々の生活と森との関わりを知ることができる



アクセス

横浜市営地下鉄センター南駅下車、徒歩約5分
（車利用の場合）中央公園入口に有料駐車場

5

古刹称名寺境内の森。常緑広葉樹のボリューム感がすばらしい

称名寺市民の森（横浜市金沢区）



主な樹木

タブノキ、スダジイ、クヌギ、コナラ

特記

国指定史跡（称名寺境内）



称名寺市民の森は鎌倉時代に北条実時が建立したとされる称名寺の境内の森。市民の保全活動によって周辺の宅地開発から守られた。本堂裏手の森はタブノキやスダジイなどの常緑広葉樹にクヌギやコナラなどの落葉広葉樹が混ざり、すばらしい景観をつくりだしている。山頂の八角堂広場からは東京湾を望むことができる

《Check》 1979年に公刊された「神奈川県における社寺林の植物社会学的調査・研究」(宮脇昭ほか)によれば、寺院後方の台地にはクロマツ林、ケヤキ、サクラなどの落葉広葉樹林が点在していたという。その後の遷移によって今日の景観が形成されたものと思われる

アクセス

京急金沢文庫駅下車、徒歩約15分、またはシーサイドライン海の公園南口駅／海の公園柴口下車、徒歩約15分（車利用の場合）海の公園柴口駐車場



市民運動によって守られた舞岡川源流の森。
農村景観が美しい。植物の種類も豊富

舞岡公園〔舞岡ふるさとの森周辺〕 (横浜市戸塚区)



主な樹木

クヌギ、コナラ、ミズキ、エノキ、ケヤキ、ハンノキ、ヤマザクラ、イロハモミジ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物・昆虫・鳥類など)、みどりの癒やしスポット、環境省重要里地里山



舞岡公園は市民運動によって保全された舞岡川源流域の森。コナラやクヌギなど落葉広葉樹が多く、ヤマザクラが咲く早春は公園全体が淡い緑でつつまれる。公園内には横浜市南部では少ないハンノキ湿性林がある。古民家を移築した「小谷戸の里」は市民ボランティアの活動ベースとなっている

《Check》 2015年に舞岡公園の南側に開園した小菅ヶ谷北公園(栄区)の自然観察ゾーンにもハンノキ林があるので足を延ばしたい



(舞岡公園のハンノキ林)

アクセス

横浜市営地下鉄舞岡駅下車、徒歩約10分、またはJR戸塚駅から江ノ電バス京急ニュータウン行き終点下車
(車利用の場合)舞岡公園入口に駐車場



横浜市南部の広大な緑地。横浜自然観察の森には保護区がある

円海山周辺の森（横浜市栄区・磯子区・金沢区）



（横浜自然観察の森）

主な樹木

クヌギ、コナラ、スダジイ、シラカシ、ミズキ、ヤマザクラ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物、昆虫、鳥類など)、かながわの探鳥地50選、環境省重要里地里山、関東の富士見百景(瀬上市民の森)



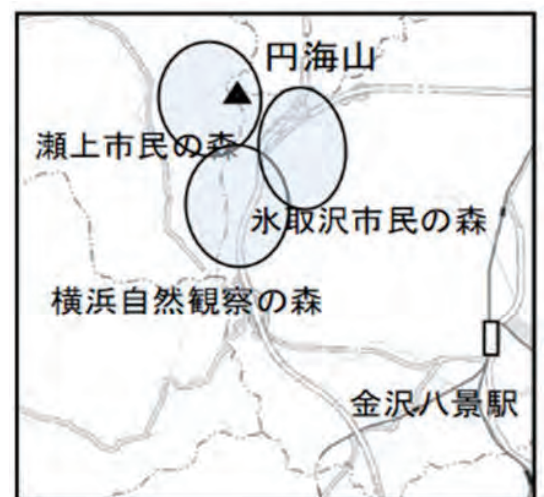
（大岡川源流域）

横浜自然観察の森、金沢市民の森、瀬上市民の森、氷取沢市民の森を含む約700haの広大な緑地。円海山の山頂付近にはスダジイ林がある。瀬上沢ではゲンジボタルの保護活動が行われ、6月には多くの市民がホタル観賞に訪れる。大岡川源流域(氷取沢市民の森)は生物多様性が最も高いエリア。横浜自然観察の森には保護区が設けられている

《Check》 横浜自然観察の森から天園を経て鎌倉の建長寺に至るハイキングコースは「鎌倉アルプス」と呼ばれている。鎌倉市の六国見山や散在ガ池森林公園に足をのぼすこともできる

アクセス

京急金沢八景駅またはJR大船駅から神奈川中央交通バス「横浜霊園前」下車。瀬上市民の森はJR港南台駅から徒歩約30分。氷取沢市民の森はJR磯子駅からバスで「氷取沢市民の森入口」下車(車利用の場合)金沢自然公園駐車場



生田緑地（川崎市多摩区）

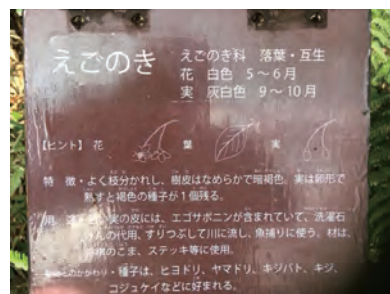


主な樹木

クヌギ、コナラ、イヌシデ、ハンノキ、シロダモ、エノキ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物、植生、昆虫など)、かながわの探鳥地50選、環境省重要里地里山

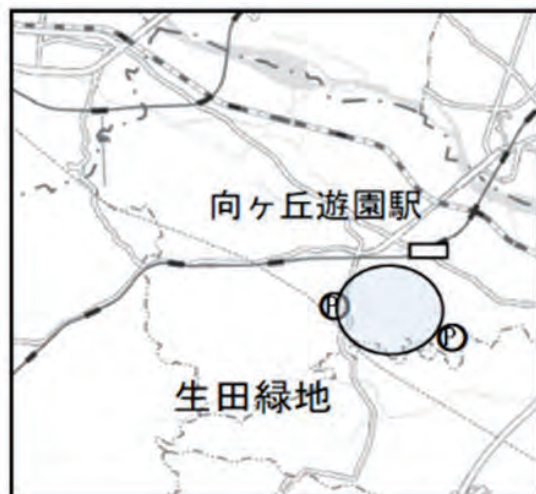


生田緑地はクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹が面積の大半を占め、谷戸にはハンノキの湿生林がある。川崎市では生田緑地植生管理計画に基づいて植生管理を行っており、生物多様性が維持されている。緑地内の樹木には名前と利用目的を記したプレートが付けられており、人々の生活と森の関わりを知ることができる。榊形山の展望台からは丹沢、奥多摩、富士山の眺望がすばらしい

《Check》 生田緑地のなかにつくられた日本民家園は全国各地から古民家を移築したもので、里山の代表的な木造建築をみることができる

アクセス

小田急線向ヶ丘遊園駅下車、徒歩約13分
(車利用の場合)生田緑地の東口と西口に有料駐車場



黒川の雑木林（川崎市麻生区）



主な樹木

クヌギ、コナラ、シラカシ、モチノキ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物、植生、陸魚)、
神奈川県里地里山保全地域、
環境省重要里地里山



黒川は川崎市北西部を流れる三沢川の源流域にある農業振興地域。かつては炭の生産地で、丘陵部はクヌギやコナラの雑木林となっている。この地域には希少種が生息しており、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている。秋には大学生が制作した野外アートが野山のなかに展示される

《Check》 黒川ではのどかな里山景観をのんびりと散策したい。くれぐれも農地には立ち入らないこと。黒川の入口にあるJAセレサで地元の野菜を調達することができる

アクセス

小田急多摩線黒川駅から黒川入口まで徒歩約10分
(車利用の場合)駅周辺の有料駐車場



市街地の中の大きな雑木林。草花を探しながらの
散策が楽しい

木もれびの森 [相模原中央緑地周辺] (相模原市南区)



主な樹木

クヌギ、コナラ、イヌシデ、ミズキ

特記

かながわの美林50選



首都圏では数少ない平地林で、大野台の相模原中央緑地のほか若松地区や麻溝台地区にもまとまった森があり、総面積は73haに及ぶ。この辺はかつての薪炭林で、今はクヌギ・コナラが主体の雑木林になっている。散策路が整備されており、四季折々の草花を探しながらの散策が楽しい

《Check》 相模原市のホームページから「木もれびの森マップ」や「木もれびの森ガイド」をダウンロードして持参すると便利

アクセス

JR横浜線古淵駅から相模原中央緑地まで徒歩約20分
(車利用の場合)周辺の有料駐車場



小松～城北〔城山湖周辺〕 (相模原市緑区)



(龍籠山展望台からの眺望)

主な樹木

クヌギ、コナラ、ホオノキ、イロハモミジ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(小松川・穴川の水辺の陸魚)、神奈川県里地里山保全地域、環境省重要里地里山、かながわの美林50選(川尻のヒノキ林)

小松城址から評議原を経て城山湖に続く金刀比羅宮参道はクヌギ・コナラなどの雑木林が美しいトレイル。評議原のイロハモミジ林(植栽)は紅葉のスポットとなっている。龍籠山展望台からは眼下に広大な広葉樹林を見渡すことができる。穴川左岸の尾根にも落葉広葉樹の林を歩く快適なハイキングコースがある



(評議原のイロハモミジ)

《Check》 穴川では「小松・城北」里山を守る会によってゲンジボタルの保護活動が行われている

アクセス

JR横浜線橋本駅から神奈川中央交通バス三ヶ木行き「城山総合事務所入口」下車、金刀比羅宮参道まで徒歩約15分(車利用の場合)城山湖のコミュニティ広場に駐車場



相模湖に映る嵐山の紅葉は見事。山頂からの展望もすばらしい

嵐山（相模原市緑区）



（嵐山山頂）

主な樹木

クヌギ、コナラ、シラカシ、アラカシ、モミ

特記

かながわの景勝50選



（相模湖畔からの嵐山）

間の山（あいのやま）が本当の名だが、美しい落葉広葉樹の景観が京都の嵐山に似ていることから、いつの間にか嵐山と呼ばれるようになったという。相模湖駅から登山口まで約15分。さらにモミの巨木が交じる快適な尾根を約30分登ると山頂に着く。山頂からは相模湖や周囲の山々の景観がすばらしい

《Check》 嵐山からの相模湖の景観は「かながわの景勝50選」に選ばれている



アクセス

JR中央線相模湖駅下車、嵐山登山口まで徒歩約15分
（車利用の場合）県立相模湖公園に有料駐車場



名倉の雑木林（相模原市緑区）



（京塚山からの展望）

主な樹木

クヌギ、コナラ、ケヤキ、イロハモミジ、ヤマツツジ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物)、かながわの美林50選



相模湖と秋山川にはさまれた旧藤野町の名倉地区はクヌギやコナラなどの雑木林が多く、一帯は「かながわの美林50選」に選ばれている。散策路は道標が整備されているので、あらかじめ「藤野・なぐら地区てくてくまっぷ」を手に入れておくとスムーズに歩ける。この辺りは植物の種類が多く、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている

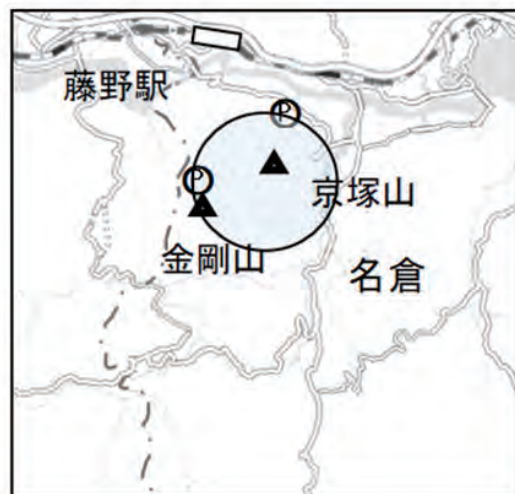
《Check》 高倉山の先の見晴らし台から先は、2021年3月現在、通行ができないので注意



（チゴユリ）

アクセス

JR中央線藤野駅から大刀（おおだち）まで徒歩約20分、または藤野駅から富士急バス名倉循環で「園芸ランド事務所前」下車
（車利用の場合）大刀と葛原に駐車場



城山は樹種が豊富で巨木も多い。森林学習や森林浴に最適

城山 [津久井湖城山公園] (相模原市緑区)



主な樹木

クヌギ、コナラ、シラカシ、アラカシ、タブノキ、ミズキ、ヤマザクラ、クリ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(昆虫)、かながわの景勝50選



(津久井湖城山パークセンター)

津久井湖畔にそびえる城山は落葉広葉樹と常緑広葉樹のパッチワークの山で、春はヤマザクラがたいへん美しい。山頂に至る登山道はよく整備され、周回路もつくられている。樹種も豊富で、さまざまな植物が観察できる。西峰には本城曲輪、東峰(飯縄神社)には飯縄曲輪の遺構があり、津久井城の往時の歴史をしのぶことができる。根小屋地区の津久井湖城山パークセンターを拠点に森林浴と歴史散策を楽しみたい

《 Check 》 津久井湖城山パークセンターの展示室には城山に関する資料がいろいろと置いてあるので、チェックしてから歩こう

アクセス

JR横浜線橋本駅から神奈川中央交通バス三ヶ木行き「津久井湖観光センター」下車、根小屋の城山パークセンターまで徒歩約20分
(車利用の場合)根小屋の城山パークセンターに駐車場



石砂山(相模原市緑区)



主な樹木

クヌギ、コナラ、アラカシ、クリ、ウラジロガシ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植生・昆虫)、神奈川県里地里山保全地域・環境省重要里地里山(篠原の里)



石砂山(いしざれやま、578m)は相模湖の南に位置する双耳峰。篠原の里の登山口から落葉広葉樹の快適な尾根道を登ると、展望の開けた山頂(東峰)に到達する。周辺の山々も落葉広葉樹が多く、この一帯は懐かしい里山の風情をとどめている。希少種も生息しており、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている。マイカー向きの山



(篠原の里)

《Check》 篠原の里では、NPO法人篠原の里や地域の人々によって美しい里山の景観を守る活動が行われている

アクセス

登山口の篠原へは JR中央本線 藤野駅よりバスで「やまなみ温泉」または「赤沢」バス停からデマンド交通を利用
(車利用の場合) 篠原の里センターに有料駐車場



大楠山(横須賀市)



主な樹木

スダジイ、タブノキ、クスノキ、マテバシイ、クヌギ、コナラ、ミズキ、オオシマザクラ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(前田川流域の昆虫・陸魚など)、みどりの癒やしスポット(前田川)、かながわの景勝50選、関東の富士見百景

三浦半島最高峰の大楠山(242m)はスダジイやタブノキなどの常緑広葉樹にクヌギやコナラなどの落葉広葉樹が混ざり、新緑や紅葉の景観は見事。ハイカーにも人気の山で、山頂の展望台に登れば360°の大展望が楽しめる。いくつかコースがあるが、おすすめは前田川遊歩道。溪流歩きが体験できる



(大楠山山頂)

《Check》 湘南国際村コースはコナラやクヌギなど落葉広葉樹の尾根道で、距離は短い、山頂直下まで階段が続く

アクセス

JR横須賀線逗子駅から京急バス長井行きで「前田橋」下車。前田橋コースで山頂まで約70分。大楠山には他に「湘南国際村コース」「塚山・阿部倉コース」(車利用の場合)湘南国際村駐車場



観音崎公園(横須賀市)



主な樹木

スタジイ、タブノキ、マテバシイ、シロダモ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植生)、かながわの探鳥地50選、かながわの景勝50選

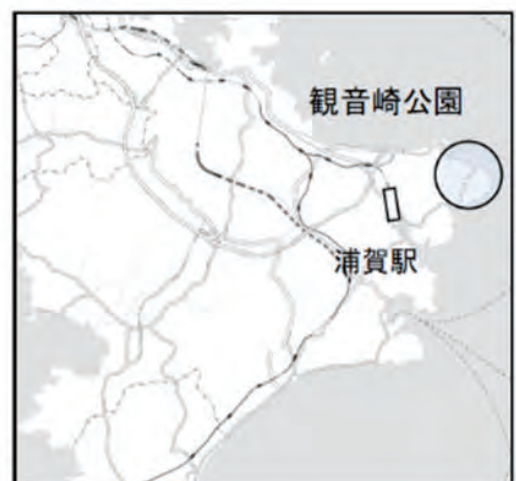


明治時代、観音崎には帝都を守るための砲台が建設された。いまでも公園内には砲台跡地が残る。広大な園内にはスタジイの高木が多く、三浦半島に特徴的な植生が保全されている。観音崎灯台近くのシロダモの純林や海岸植生は学術的にも貴重なもので、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている

《Check》 観音崎公園内には広場や遊具があり、休日はいつも家族連れでにぎやか。いろいろな散策コースがあるが、整備のため通行できない園路があるので注意(2021年3月現在)

アクセス

京急線浦賀駅あるいはJR横須賀線横須賀駅からバスで「観音崎」下車(車利用の場合)パークセンター駐車場



武山～三浦富士(横須賀市)

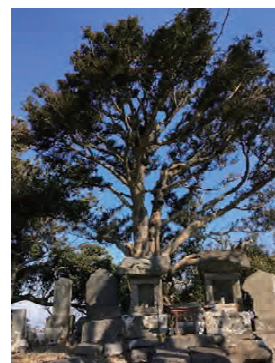


主な樹木

スダジイ、タブノキ、マテバシイ、コナラ、クヌギ、ヤマザクラ、ヤブツバキ

特記

関東の富士見百景(武山)



(三浦富士の山頂)

武山から三浦富士に連なる丘陵地では、スダジイやマテバシイなどの常緑広葉樹とクヌギやコナラなどの落葉広葉樹が混在する三浦半島らしい植生がみられる。山裾にはミカン畑やイチゴのハウスが広がり、海や田園風景を眺めながら、のんびりと稜線歩きを楽しみたい。武山には武山不動尊があり、約2000本のツツジが植えられている

《Check》 植林されたマテバシイの
景観は壮観だが、近年はナラ枯れが
拡大している

アクセス

京急線津久井浜駅から武山まで徒歩
約60分。さらに三浦富士まで約40分。
三浦富士へは京急長沢駅からアプ
ローチすることもできる
(車利用の場合) 駅周辺有料駐車場



土屋の雑木林(平塚市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、イタヤカエデ、イヌシデ

特記

かながわの探鳥地50選、神奈川県里地里山保全地域、環境省重要里地里山



平塚市の西端に位置する土屋地区は座禅川の上流域に位置し、クヌギやコナラの落葉広葉樹林が水田や畑地を取り囲んでいる。このエリアには良好な里山の自然が残されており、植物や昆虫の種類も多い。平塚市の自然環境評価書(2006年)の総合評価では最高ランクの「A」評価を受けている



(遠藤原)

《Check》 遠藤原からの山並みの眺望は平塚八景に選ばれている



アクセス

JR東海道線平塚駅北口から神奈川中央交通バス秦野駅南口行きで「土屋霊園入口」下車

吉沢～鷹取山(平塚市・大磯町)



主な樹木

クヌギ、コナラ、スダジイ、タブノキ、カゴノキ、モクレイシ

特記

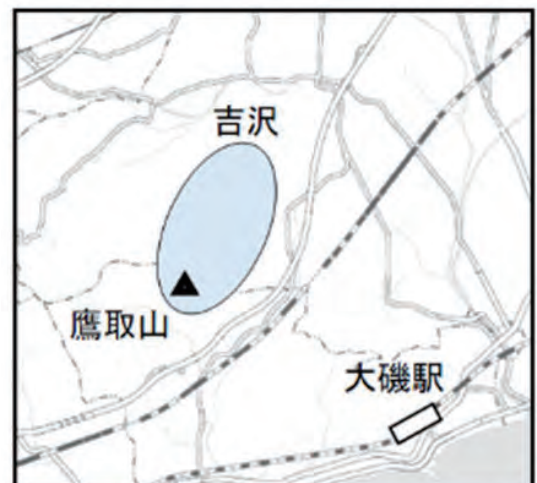
神奈川県生物多様性ホットスポット(鷹取山の社叢林の植生)、かながわの探鳥地50選、みどりのパワースポット、環境省重要里地里山

平塚市の西部丘陵地域の吉沢(きさわ)地区から大磯町の鷹取山に連なる丘陵にはクヌギ・コナラの二次林が広がる。一方、鷹取山の鷹取神社周辺にはカゴノキ、スダジイ、タブノキなど常緑樹の自然植生が残っており、県の天然記念物に指定されている。霧降りの滝は樹林帯のなかの小さな滝で、平塚八景に選ばれている

《Check》 吉沢公民館を基点にゆっくりと散策するのがおすすめ



(霧降りの滝)



アクセス

JR東海道線平塚駅北口より神奈川中央交通バス神奈川大学行きで「神戸」下車、吉沢公民館まで徒歩2分

山崎・台峯緑地（鎌倉市）



主な樹木

クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、スダジイ、ハンノキ



山崎・台峯緑地の尾根の大部分はクヌギやコナラ、ヤマザクラなどの明るい雑木林だが、谷戸は湿地になっていて鬱蒼としている。鎌倉市では、山崎・台峯緑地の優れた自然環境を守り、後世に伝えることを基本理念に、市民との協働で緑地の整備を進めている

《Check》 山崎・台峯緑地にはいくつかの入口がある。わかりやすいのは山之内配水池入口で、休憩所が設置されている。山崎・台峯緑地は鎌倉中央公園に接しているので、湘南モノレールを利用して鎌倉中央公園に入り、尾根伝いに山崎・台峯緑地に向かうこともできる



(南管理事務所/
山之内配水池入口)



アクセス

JR横須賀線北鎌倉駅下車。山崎・台峯緑地入口の南管理事務所(山ノ内配水池)まで徒歩約30分。鎌倉中央公園へは湘南モノレール湘南町屋駅から徒歩約15分
(車利用の場合)北鎌倉駅周辺有料駐車場

鎌倉広町緑地（鎌倉市）



（御所谷入口）→

主な樹木

クヌギ、コナラ、イヌシデ、ウルシ、ハゼノキ、タブノキ、スダジイ、オオシマザクラ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(陸魚)、みどりの癒やしスポット、環境省重要里地里山



市民運動によって開発から守られた鎌倉山近くの広大な緑地。公園内にはクヌギやコナラの落葉広葉樹が多く、湿地には歩道がつくられている。御所谷の管理事務所の近くでは、古くに植栽されたウルシの林を見ることができる。林内にフクロウが生息しているらしい

《Check》 鎌倉市は広町緑地を都市計画法上の「都市林」として整備している。都市林は1993年の都市公園法施行令改正で導入された制度で、主として動植物の生息地または生育地である樹林地等の保護を目的とする都市公園をさす。県内では葉山町の三ヶ岡山緑地も都市林の指定がなされている

アクセス

湘南モノレール西鎌倉駅下車、御所谷入口まで徒歩約10分
（車利用の場合）周辺有料駐車場



散在ガ池森林公園(鎌倉市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、シラカシ、
スダジイ、イヌシデ、カツラ、
ホオノキ、トチノキ

特記

生活環境保全林100選



(ケイワタバコ)

かつて農業用のため池だった散在ヶ池周辺を神奈川県が昭和50年代に生活環境保全林として整備した。池の周囲は落葉広葉樹と常緑広葉樹が入りまじり、とくに紅葉の季節は美しい。散策路の各所に樹木に関する説明板が設置されているので、森林学習にも向いている。管理事務所近くの散策路の斜面にはケイワタバコが群生しており、6月にうす紫色の可愛らしい花をつける

《Check》 2019年の台風被害の影響で「せせらぎの小径」は通行止めになっている(2021年3月現在)

アクセス

JR東海道線・横須賀線大船駅から江ノ電バス鎌倉湖畔系統で「今泉不動」下車、徒歩約5分。JR北鎌倉駅から六国見山森林公園を経由で徒歩約30分(車利用の場合)北鎌倉駅周辺の有料駐車場



遠藤笹窪谷^{やと}(藤沢市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、イヌシデ、
アカガシ、ハンノキ



遠藤笹窪谷(ささくぼやと)の谷戸底はかつて水田として利用されていた。現在はヨシ、オギなどが生育する湿地で、ハンノキもみられる。谷戸の斜面林はコナラ、クヌギ、イヌシデなどの落葉広葉樹を中心に、シラカシなどの常緑樹、スギなどの植林が混在する。藤沢市では遠藤笹窪谷緑地を「健康の森」として整備している

《Check》 隣接する少年の森とはフットパスでつながっており、周回することができる。少年の森にはアカガシの大木がある

アクセス

小田急江ノ島線・相鉄いずみ野線・
横浜市営地下鉄湘南台駅西口より
神奈川中央交通バス慶応大学行き
終点下車、徒歩約10分
(車利用の場合)少年の森に駐車場



茅ヶ崎里山公園(茅ヶ崎市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、アカガシ、アラカシ、スダジイ、シラカシ

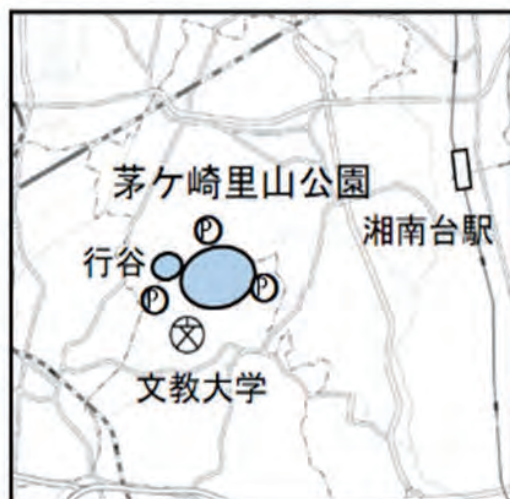


茅ヶ崎市北部を流れる小出川沿いの柳谷(やなぎやと)と中ノ谷の大部分を神奈川県が県立公園として整備した。柳谷の里山保全エリアは自然環境が極力保全されており、隣接する行谷とともに、茅ヶ崎市自然環境評価調査では最も高い評価が与えられている。さまざまな生物が生息しており、茅ヶ崎野外自然史博物館などが主催する定例自然観察会などのイベントが随時開催されている

《Check》 公園内の農地には立ち入らないこと。園内は歩道が整備されているので歩道を歩こう。里山保全エリアも立ち入りが禁止されている

アクセス

小田急江ノ島線・相鉄いずみ野線・横浜市営地下鉄湘南台駅西口またはJR茅ヶ崎駅から神奈川中央交通バス文教大学行きで「芹沢入口」下車、徒歩約5分
(車利用の場合)里山公園の3カ所に駐車場



神武寺～鷹取山（逗子市）

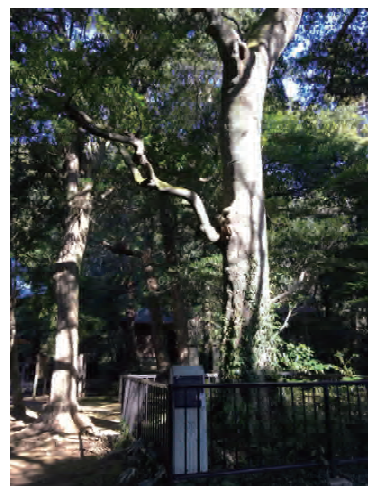


主な樹木

スダジイ、タブノキ、ケヤキ、
シロダモ、コナラ、イヌシデ、
ホルトノキ

特記

神奈川県生物多様性ホット
スポット(植生・鳥類)、かな
がわの美林50選、かながわ
の景勝50選



（なんじゃもんじゃの木）

古い歴史をもつ神武寺はスダジイを主体とする常緑広葉樹に囲まれている。境内の「なんじゃもんじゃ」の木（ホルトノキ）は「かながわの名木100選」に選ばれている。神武寺から鷹取山に続く尾根道は快適なハイキングコース。鷹取山はかつての石切り場で、休日はクライミングを楽しむ人でにぎわう

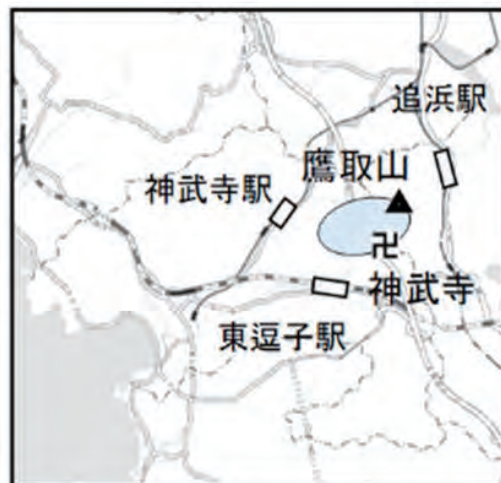


（鷹取山ハイキングコース）

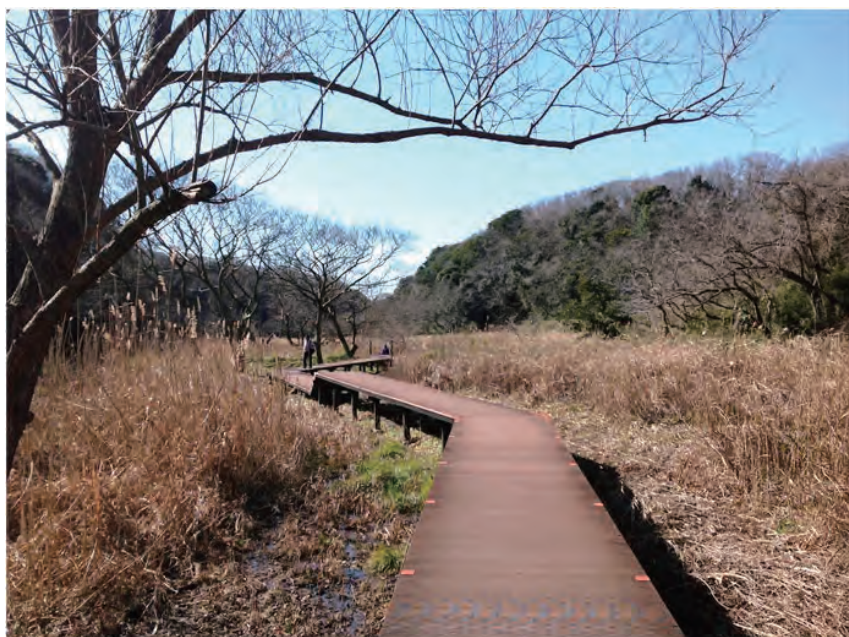
《Check》 昔は樹名がわからない木を「なんじゃもんじゃ」と呼んだ

アクセス

京急線神武寺駅より神武寺まで徒歩約20分。JR横須賀線東逗子駅から神武寺まで徒歩約20分。神武寺から鷹取山へは徒歩約20分。鷹取山へは京急線追浜駅から京急バス湘南たかとり団地循環で「たかとり小学校」下車、徒歩約10分



小網代の森(三浦市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、ハンノキ、
スダジイ、タブノキ

特記

神奈川県生物多様性ホット
スポット(植生・甲殻)、かなが
わの探鳥地50選、みどりの
癒やしスポット、環境省重要
里地里山



小網代湾に面した小網代の森は、森林、湿地、干潟、海が連続して残されている関東地方で唯一の自然環境とされる。昔はコナラやクヌギの薪炭林であったと思われるが、遷移により常緑樹が増えている。かつて水田があった谷戸の湿地帯にはジャヤナギとハンノキの林がある。湿地には散策路が整備されている

《Check》 神奈川県は小網代の森一帯を近郊緑地特別保全地区に指定して整備を行い、2014年に一般開放した。小網代の森の保全活動は、NPO法人小網代野外活動調整会議が中心になって進められている

アクセス

京急線三崎口駅から徒歩約30分。または京急バス三崎港行きで「引橋」下車、引橋入口まで徒歩約5分
(車利用の場合)三浦市交流センター(ベイシア三浦店)駐車場



弘法山公園(秦野市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、ミズキ、エノキ、イヌシデ、ソメイヨシノ、イタヤカエデ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(昆虫)、かながわの探鳥地50選、かながわの景勝50選、関東の富士見百景

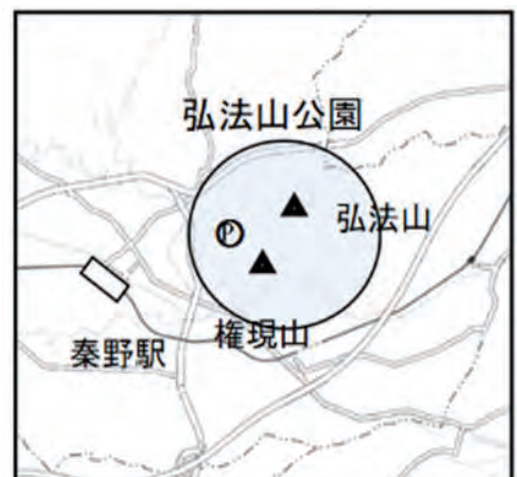


浅間山、権現山、弘法山の一带は弘法山公園と呼ばれている。クヌギ・コナラなど落葉広葉樹の林が広がり、若葉のころの景観はすばらしいの一言に尽きる。権現山から弘法山に続く沿道にはたくさんのサクラが植えられており、春は花見客でにぎやかだ。権現山の展望台に登れば、広葉樹につつまれた大磯丘陵が一望できる。弘法山から善波峠を経て吾妻山に至る尾根道もハイカーに人気がある

《Check》 吾妻山から鶴巻温泉に下山すれば、温泉で汗を流すことができる

アクセス

小田急線秦野駅より弘法山公園(権現山展望台)まで徒歩約60分
(車利用の場合)弘法山公園に駐車場



名古木の雑木林(秦野市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、イヌシデ、ミズキ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(昆虫など)、神奈川県里地里山保全地域、環境省重要里地里山



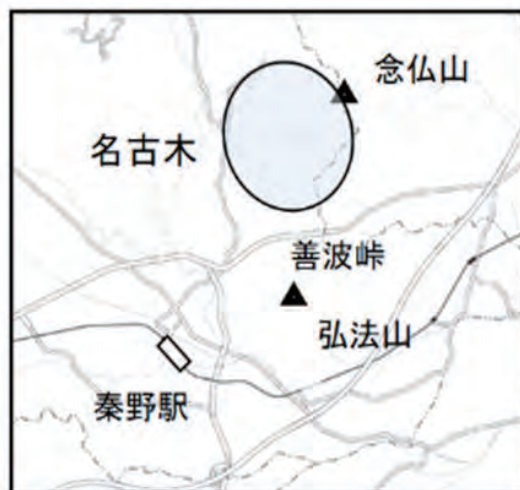
(ハンショウヅル)

念仏山の麓に位置する名古木(ながめき)地区にはクヌギ・コナラの雑木林が現在も多く残っている。かつて秦野では、クヌギやコナラの落葉は葉タバコの苗床の肥料に、幹や枝は乾燥用の燃料に利用された。名古木では里山保全活動団体によって雑木林や水田の管理が行われ、里山の貴重な生態系が大切に保全されている。このエリアは、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている

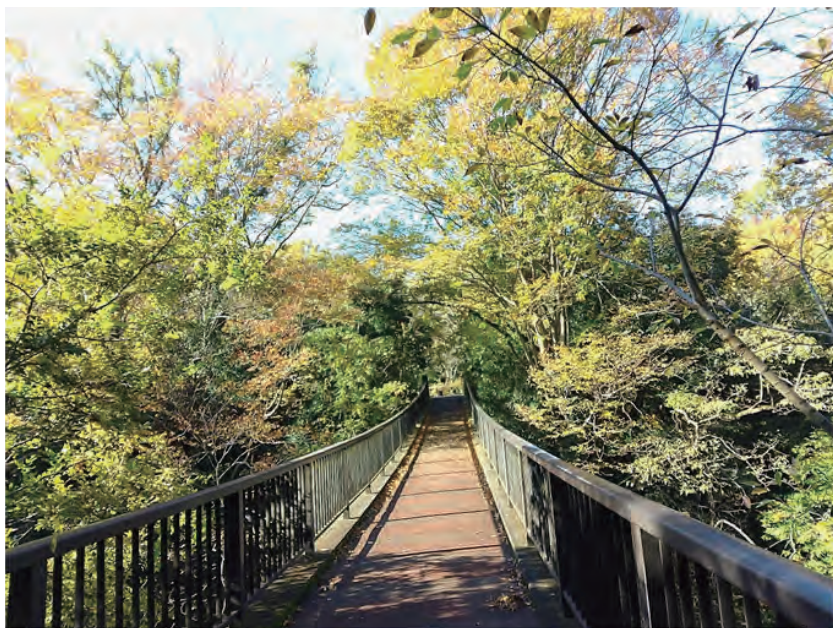
《Check》 名古木の生態系については学術調査が行われており、希少な生物の生息が確認されている。私有地に無断で立ち入らないこと

アクセス

小田急線秦野駅から神奈川中央交通バス曾根弘法行き「御嶽神社入口」下車、徒歩約15分



葛葉緑地(秦野市)



(くずはの吊り橋)

主な樹木

クヌギ、コナラ、ミズナラ、
ケヤキ、ハンノキ

特記

みどりの癒やしスポット



(くずはの家)

葛葉緑地は蛇行して流れる葛葉川の渓谷沿いにあり、1987年に「かながわナショナル・トラスト第1号」に指定された。急峻な斜面は落葉広葉樹の林になっており、市街地における貴重な緑地帯を形成している。植物や鳥の種類も多い。湿地にはハンノキ林がある



(ハンノキ林)

《Check》 くずはの広場にある「くずはの家」には閲覧室と研修室があり、葛葉緑地の自然に関する情報が入手できる

アクセス

小田急線秦野駅から渋沢駅北口行きバス「宮上」下車、徒歩約5分
(車利用の場合)「くずはの家」の前に駐車場



渋沢丘陵〔震生湖～八国見山 ～頭高山〕（秦野市）



（震生湖畔の雑木林）

主な樹木

クヌギ、コナラ、ミズキ、イヌシデ、エノキ、クリ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット（植物・昆虫）、かながわの探鳥地50選（震生湖）



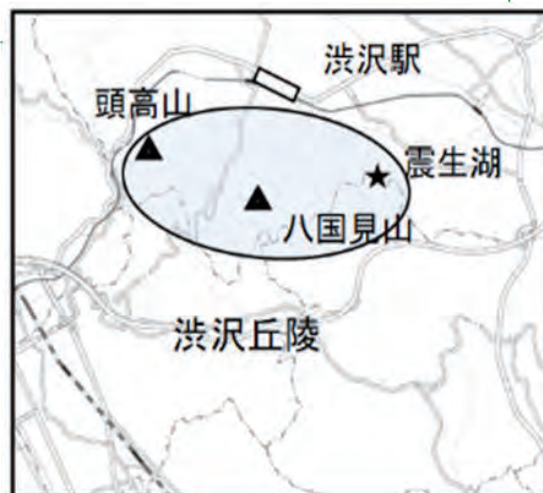
（八国見山）

渋沢丘陵は落葉広葉樹が多く、スケールの大きな里山景観を形成している。震生湖の周囲はクヌギやコナラの林になっており、新緑の季節はすばらしい。八国見山（やくにみやま）や頭高山（ずっこうやま）も自然林が多く、丹沢山地を展望しながら静かな山歩きを楽しむことができる。このエリアは神奈川県地域環境評価書の総合評価において「A1」の最高評価を受けており、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている



（頭高山）

《Check》 この付近は国蝶のオオムラサキの生息地とされるが、開発の影響が懸念される



アクセス

震生湖へは小田急線秦野駅から徒歩約60分。震生湖から八国見山へは徒歩約90分。八国見山から頭高山までは徒歩約50分
（車利用の場合）震生湖に駐車場

七沢森林公園(厚木市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、ハリギリ、ミズキ、イタヤカエデ、ヤマザクラ

特記

かながわの美林50選



(巡礼峠)

七沢温泉に近い広大な丘陵地を神奈川県が森林公園として整備した。公園内にはコナラやクヌギなどの落葉広葉樹が多く、早春には丘陵全体が淡い緑につつまれる。鳥類の種類も多い。公園北側の巡礼峠から尾根伝いに飯山白山森林公園方面に歩くこともできる

《Check》 七沢森林公園の向かいにある神奈川県自然環境保全センターにも立ち寄りたい。本館2階には丹沢のブナ林を再現したジオラマがある。屋外の自然観察園では谷戸の環境が保全されており、川沿いに雑木林を散策することができる

アクセス

小田急線本厚木駅下車、厚木バスセンターより神奈川中央交通バス七沢温泉行きで「七沢温泉入口」下車、徒歩約10分
(車利用の場合)公園中央口及び北口に駐車場



あつぎこどもの森公園(厚木市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、シラカシ

特記

神奈川県生物多様性ホット
スポット(昆虫・陸魚・哺乳
類)

(アカネスミレ)

荻野運動公園の隣に2016年に開園した新しい森林公園。コナラ林のなかに全長745mの「空中回廊」がつくられ、高い位置から森の様子を観察することができる。公園内は生物多様性に配慮した保全管理が行われており、多様な生物が生息している。神奈川県生物多様性ホットスポットにも選定されている



《Check》 コナラの丘の北側に大きな湿地がある。ここはかつての水田で、現在はヨシ原になっている

アクセス

小田急線本厚木駅下車、厚木バスセンターより神奈川中央交通バス荻野運動公園経由宮の里行きで「荻野運動公園」下車
(車利用の場合)公園入口に駐車場



泉の森(大和市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、シラカシ、ムクロジ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物・植生・昆虫など)、かながわの美林50選、かながわの探鳥地50選、みどりの癒しスポット



引地川源流の広大な森。総面積は42haに及ぶ。公園の南側にあるシラカシの林は県の天然記念物に指定され、「かながわの美林50選」にも選ばれている。中央の池には多くの水鳥が飛来し、休日は大勢のカメラマンでにぎわう。植物の種類が多いので、季節を変えて訪れたい

《Check》 園内の自然観察センター・しらかしの家では、定期的に植物中心の観察会を開催している



アクセス

相鉄線相模大塚駅から徒歩約15分、または小田急線・相鉄線大和駅から徒歩約25分
(車利用の場合)園内に駐車場



大山～日向薬師(伊勢原市・厚木市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、アラカシ、モミ、スダジイ、アカガシ、ウラジログシ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物・植生・鳥類)、かながわの美林50選(モミの原生林)、かながわの探鳥地50選



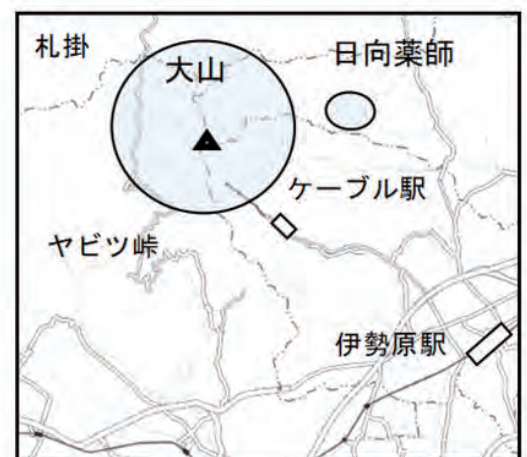
(日向薬師)

大山(1252m)はモミの原生林で知られるが、落葉広葉樹も多く、新緑や紅葉がすばらしい。大山の麓にある日向薬師の境内にはスダジイ、ウラジログシ、アカガシの巨木林があり、神奈川県生物多様性ホットスポット(植生:自然林)に選定されている。日向薬師の北側は落葉広葉樹の森になっており、新緑や紅葉が美しい。日向薬師から日向山までハイキングコースがある

《Check》 大山への登山ルートの中なかでは、ヤビツ峠からイタツミ尾根を登るルートに広葉樹が多い。富士山の展望もある

アクセス

小田急線伊勢原駅より神奈川中央交通バス「大山ケーブル」下車。ヤビツ峠へは小田急線秦野駅から神奈川中央交通バス「ヤビツ峠行き」終点下車。手前の蓑毛からヤビツ峠に登ることもできる。日向薬師へは小田急線伊勢原駅から日向薬師行きのバスで終点下車(車利用の場合)ケーブル駅周辺の有料駐車場、ヤビツ峠駐車場、日向薬師駐車場



いせはら塔の山緑地公園(伊勢原市)



主な樹木

コナラ、クヌギ、イタヤカエデ、イロハモミジ



塔の山(203m)は伊勢原市西部にあるコナラ・クヌギの森。神奈川県が県立公園として整備した。塔の山の北西に位置する聖峰(380m)も落葉広葉樹の山で、山頂の聖峰不動尊からは横浜や相模湾の大展望が楽しめる

《Check》 塔の山緑地公園から聖峰まで徒歩約60分。聖峰から高取山(556m)に続く尾根道も落葉広葉樹のトレイルで、春にはヤマツツジが尾根を彩る



(聖峰)

アクセス

小田急線伊勢原駅から神奈川中央交通バス栗原行き「東京農大伊勢原農場前」または「栗原」下車、徒歩約15分(車利用の場合)パークセンターに駐車場



座間谷戸山公園(座間市)



主な樹木

コナラ、クヌギ、イヌシデ、
シラカシ、ムクノキ、アラカ
シ、エゴノキ

特記

神奈川県生物多様性ホット
スポット(植物・昆虫・鳥類な
ど)、かながわの美林50選



座間谷戸山公園は神奈川県が「自然生態観察公園」として整備した風致公園。総面積は30.6haで、クヌギ・コナラ観察林、シラカシ観察林、スギ・ヒノキ観察林、昆虫の森など多様な樹相の森から構成されている。座間谷戸山公園は県央地域の市街地に残された貴重な自然環境であり、生態系保全に配慮した管理が行われている



《Check》 座間谷戸山公園にはいろんな鳥がやってくる。公園のホームページの「鳥ごよみ」でチェックしよう

アクセス

小田急線座間駅下車、徒歩約10分
(車利用の場合)公園駐車場



はやま三ヶ岡山緑地(葉山町)



主な樹木

スダジイ、タブノキ、アカガシ、オオシマザクラ、ヤブツバキ、ミズキ、クヌギ、コナラ

特記

関東の富士見百景



国土地理院地図の表記は「大峰山」。神奈川県が緑地保全を目的に県立の都市公園(都市林)として整備した。西峰、中央峰、東峰の三つの峰を結ぶ尾根道にはスダジイ、アカガシ、タブノキ等の常緑広葉樹が多い。展望デッキや中央広場からの富士山の眺望は秀逸で、関東の富士見百景に選ばれている



《Check》 富士山の眺望を楽しむなら空気が澄んでいる冬がおすすめ。常緑樹が多いので、冬でも緑の森のなかを歩くことができる

アクセス

JR横須賀線逗子駅から京急バス長井行きで「向原」下車、あじさい公園口まで徒歩約20分、または「旧役場前」下車で「つつじコース入口」まで徒歩約5分
(車利用の場合)周辺の有料駐車場



森戸川流域の森(葉山町・逗子市)



主な樹木

クヌギ、コナラ、スダジイ、
タブノキ、カラスザンショウ

特記

神奈川県生物多様性ホット
スポット(植物・昆虫・鳥類な
ど)、かながわの探鳥地50選、
かながわの美林50選(仙元
山)



三浦丘陵北部の二子山山系を流れる森戸川の流域は、落葉広葉樹、常緑広葉樹、針葉樹人工林の混交林になっており、深い森が形成されている。植物や鳥類の種類も多く、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている。林道は歩きやすく、森を散策する楽しさを存分に味わうことができる。森戸林道入口から林道終点まで約40分

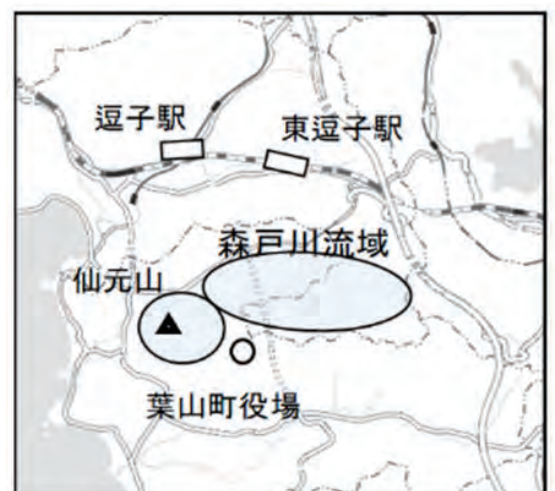


(林道終点)

《Check》 林道終点から先は道が
不明瞭になるので、往路を引き返す
のが無難

アクセス

JR横須賀線逗子駅から京急バス長井
行きで「長柄交差点」下車、森戸川へ
の林道入口まで徒歩約30分。仙元山
ハイキングコースは「向原」下車。
(車利用の場合)周辺有料駐車場



40

照葉樹林で有名な高麗山だが、意外と落葉広葉樹も多い

高麗山 [湘南平/高麗山公園] (大磯町)



主な樹木

スダジイ、タブノキ、モクレイシ、ウラジログシ、ケヤキ、ミズキ、イヌシデ、イロハモミジ、ムクノキ、カゴノキ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植生・昆虫)、かながわの美林50選、かながわの探鳥地50選、かながわの景勝50選、日本の森100選

東海道のランドマークである高麗山(168m)は、県内屈指の照葉樹林の森として知られている。とくに南斜面のスダジイやタブノキ、ウラジログシ等の自然林は神奈川県の天然記念物に指定されている。もっとも、イロハモミジやイヌシデ等の落葉広葉樹も多く、新緑や紅葉の景観はすばらしい。東天照から大堂(高麗山)、八俣山、浅間山を経て湘南平に至る稜線ではさまざまな草花がみられる

《 Check 》 高麗山と浅間山の稜線にヤブランの群生地がある



(ヤブラン)



アクセス

JR東海道線大磯駅から高来神社を経て高麗山の山頂まで徒歩約50分
(車利用の場合)湘南平駐車場

中井町の雑木林(中井町)



主な樹木

クヌギ、コナラ、スダジイ、イタヤカエデ、タブノキ、ヤマザクラ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(陸魚)、関東の富士見百景(中井中央公園)

(厳島湿性公園)

中井町は大磯丘陵の一角にある里山の町。クヌギやコナラの雑木林と畑地がモザイク状に配置されている。雑木林や谷戸ではさまざまな植物、昆虫、鳥類が観察でき、希少種も生息している。ウォーキングコースが整備されているので、中井町オリジナル散策マップ「中井遊歩」を片手に里山散策を楽しみたい

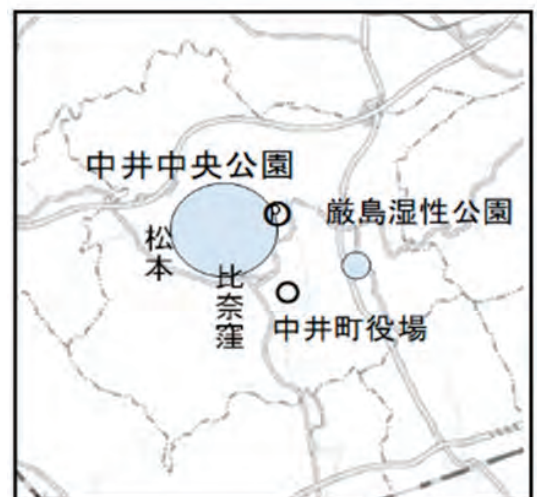


《Check》 中井町雑色にある中井のエンジュ(イヌエンジュ)は神奈川県の天然記念物で、「かながわの名木100選」にも選ばれている

(中井のエンジュ)

アクセス

小田急線秦野駅またはJR東海道線二宮駅から神奈川中央交通バス中井町役場入口行き終点下車、中井中央公園まで徒歩約20分
(車利用の場合)中井中央公園に駐車場



玄倉川の溪畔林 [西丹沢県民 の森付近](山北町)



主な樹木

シオジ、サワグルミ、トチノキ、シナノキ、チドリノキ、フサザクラ、ウラジロガシ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物・植生・鳥類など)、かながわの景勝50選(丹沢湖)、かながわの美林50選・森林浴の森100選(西丹沢県民の森)



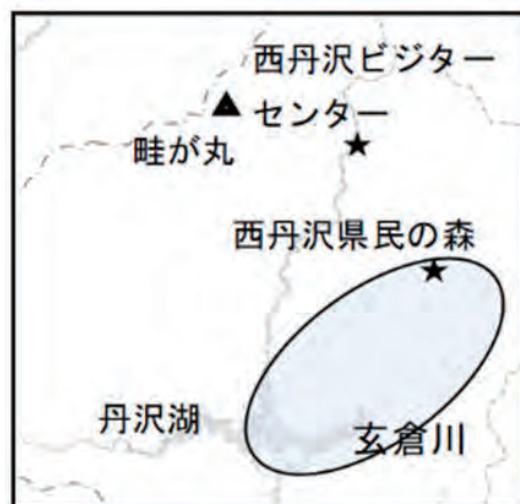
(西丹沢県民の森)

丹沢湖にそそぐ玄倉川の上流は、落葉広葉樹の緑や紅葉が溪流のブルーに映え、すばらしい溪谷美を造り出している。溪流沿いに玄倉林道を歩くことになるが、周囲の山々の眺めも良い。支流の仲の沢上流にある西丹沢県民の森には大正時代にスギを植林した「大正の森」がある

《Check》 復旧工事のため玄倉林道は石崩隧道から先は歩行者も含めて通行止めになっている(2021年3月現在)

アクセス

小田急線新松田駅から富士急湘南バス西丹沢ビジターセンター行きで「玄倉」下車。小川谷出合まで徒歩約40分、さらに西丹沢県民の森まで徒歩約40分(車利用の場合)玄倉に町営駐車場



西沢（下棚・本棚）（山北町）



主な樹木

トチノキ、オニイタヤ、フサザクラ、ヤシャ
ブシ、ウラジログシ、カヤ

特記

みどりの癒やしスポット



（写真の滝は下棚）

中川川支流の西沢の溪畔林は丹沢でも屈指の美しさ。清冽な沢の流れと滴るような緑には心が洗われる。西沢の支流には下棚（落差40m）と本棚（落差60m）の2つの豪快な滝がある。山北町では西沢の滝めぐりコースを森林セラピーとして推奨している

《Check》 登山道は岩がゴロゴロしているので登山靴を履こう

アクセス

小田急線新松田駅から富士急湘南バス西丹沢ビジターセンター行きで終点下車。西丹沢ビジターセンターから下棚の滝まで徒歩約70分、下棚分岐から本棚の滝まではさらに約15分（車利用の場合）西丹沢ビジターセンター駐車場



箱根山(箱根町)



主な樹木

ブナ、ヒメシャラ、イヌブナ、イタヤカエデ、アセビ、アブラチャン

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(三国山、台ヶ岳のブナ林など)、かながわの探鳥地50選(神山・駒ヶ岳)、神奈川県里地里山保全地域(畑宿)、環境省重要里地里山(畑宿)

(ポーラ美術館の森の遊歩道)

駒ヶ岳や神山の紅葉は天下一品。あまり知られていないが、芦ノ湖西岸の三国山にはブナの巨木林があり、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている。小塚山(ポーラ美術館の森の遊歩道)のヒメシャラもきれいだ。旧東海道の畑宿から徒歩40分の飛龍の滝周辺はモミジが多く、新緑や紅葉の景色が素晴らしい

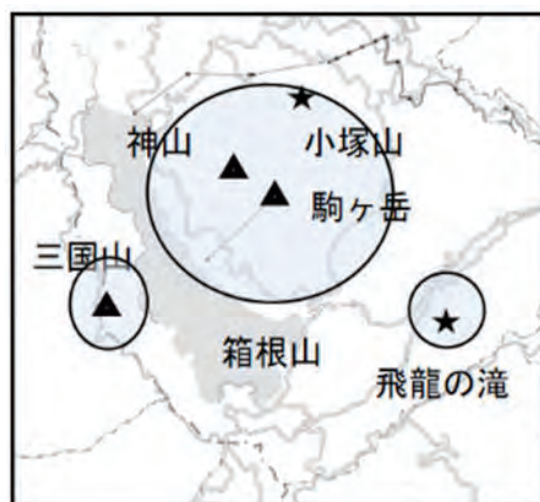


(三国山のブナ)

《Check》 火山活動のため、駒ヶ岳周辺の登山道は立ち入り禁止になっている(2021年3月現在)

アクセス

小塚山(森の遊歩道)は箱根湯本駅から箱根登山バスでポーラ美術館行き終点下車。三国山は箱根湯本駅から箱根登山バス桃源台行きで終点下車、徒歩約1時間半。飛龍の滝へは箱根湯本駅から箱根登山バス元箱根港行きで「畑宿」下車、徒歩約40分



金時山(箱根町・南足柄市)



主な樹木

ブナ、ミズナラ、イヌシデ、トウゴクミツバツツジ、シロヤシオ、アセビ、リョウブ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(金時山北面の植生、南面の低木群落)



金時山(1213m)は箱根外輪山の最高峰。山頂からの箱根山や富士山の眺望は抜群で、いつも大勢の登山客でにぎわっている。金時山は落葉広葉樹の山で、希少な植物が多いことでも知られる。春はブナの新緑のなかにシロヤシオやトウゴクミツバツツジが咲く。2021年4月に南足柄市矢倉沢と箱根仙石原を結ぶ「はこね金太郎ライン」が開通し、アクセスが便利になった

《Check》 大雨の影響により金時山の山頂直下の鉄階段が崩落したため、足柄峠から金時山には行けないので注意。夕日の滝から金時山に登るコースも通行止めになっている(2021年3月現在)

アクセス

箱根方面から金時山へは箱根登山鉄道箱根湯本駅から箱根登山バス湖尻・桃源台行き「金時神社入口」下車。公時神社経由で山頂まで徒歩約70分(車利湯の場合)金時山登山駐車場



真鶴半島自然公園(真鶴町)



主な樹木

スタジイ、クスノキ、タブノキ、クロマツ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物・植生・鳥類)、かながわの美林50選、かながわの探鳥地50選、かながわの景勝50選、森林浴の森100選、日本の森100選

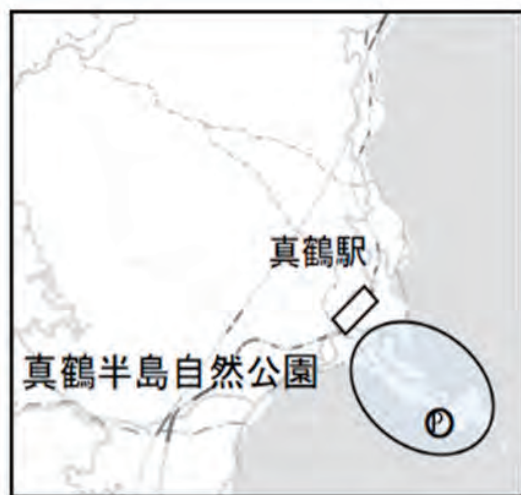


江戸時代に真鶴半島には小田原藩によってマツが植林された。その後、明治時代に御料林となり、明治37年に「魚つき保安林」に指定されたという古い歴史をもつ。現在真鶴半島の照葉樹林は神奈川県の天然記念物に指定されており、県は真鶴半島を県立自然公園に指定して保護を行っている。自然公園内には遊歩道がつくれ、クスノキやスタジイの巨木の森をゆっくりと散策することができる

《Check》 真鶴半島自然公園には希少な植物が自生しており、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている

アクセス

JR真鶴駅から伊豆箱根バスでケープ真鶴行き「中川一政美術館」下車または真鶴駅から徒歩約45分(車利用の場合)お林展望公園駐車場など数か所に駐車場



幕山(湯河原町)



主な樹木

コナラ、スダジイ、クスノキ、ニシキウツギ、シャクナゲ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(陸魚)、かながわの美林50選(鍛冶屋のクスノキ林)



幕山は梅林が有名だが、広葉樹林が岩壁を包み込んでおり、新緑や紅葉の景観はすばらしい。山頂付近は草原になっていて、真鶴半島をはじめ相模湾の大展望を楽しむことができる。幕山公園には約700本のシャクナゲが植えられており、花の時期は見事だ

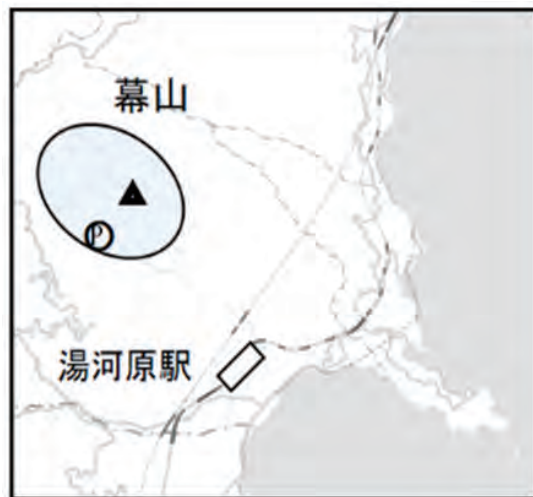


(鍛冶屋のクスノキ林)

《Check》 幕山公園の先に「鍛冶屋のクスノキ林」がある。これは明治時代に植林されたもので、立派なクスノキが文字通り林立している

アクセス

幕山公園へはJR湯河原駅から箱根登山バス幕山公園行き終点下車。幕山の山頂までは徒歩約1時間
(車利用の場合)幕山公園駐車場(梅祭りの時期は規制有り)



仏果山(愛川町・清川村)



主な樹木

クヌギ、コナラ、モミ、イヌブナ、アブラチャン、ミツバツツジ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(植物・植生)



(山頂付近のミツバツツジ)

仏果山は自然林の山で、山頂の展望台からは宮ヶ瀬湖や丹沢の山々の眺めを楽しむことができる。仏果山と高取山を結ぶコースはハイカーに人気で、休日の山頂はにぎやだ。宮ヶ瀬湖側から登ることもできる。新緑や紅葉の季節がおすすめ。草花の種類も多く、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定されている



(県立あいかわ公園)

《Check》 県立あいかわ公園の自然観察林(南山遊歩道)にも広葉樹の林がある。夏はヤマビルに注意



アクセス

小田急線本厚木駅から神奈川中央交通バス半原行きで「燃系組合前」下車で山頂までは約2時間、または宮ヶ瀬行き「仏果山登山口」下車で山頂まで徒歩約90分(車利用の場合)県立あいかわ公園南駐車場、または仏果山登山口バス停近くに大棚沢広場駐車場

八菅山いこいの森(愛川町)



主な樹木

スダジイ、アラカシ、タブノキ、
クヌギ、コナラ

特記

神奈川県生物多様性ホット
スポット(植生・昆虫)、史跡名
勝天然記念物、神奈川県里
地里山保全地域、かながわ
の美林50選、かながわの探
鳥地50選、かながわの景勝
50選、環境省重要里地里山

八菅山神社のスダジイの林は神奈川県の天然記念物に指定されている。神社の裏手はスダジイやクヌギ・コナラの雑木林となっており、植物や鳥の種類が多い。八菅山の隣の鳶尾山は落葉広葉樹の山で、山頂付近にはサクラが植樹されている。八菅山から鳶尾山を経て厚木市の鳶尾団地に下ることにもできる



《Check》 八菅山いこいの森は草花の種類が多いので、愛川町のホームページから「愛川の花の図鑑」をダウンロードして持参すると便利

(鳶尾山観光展望台)

アクセス

小田急線本厚木駅から神奈川中央交通バス愛川町役場／愛川バスセンター行きで「一本松」下車、徒歩約30分(車利用の場合)みずとみどりの青空博物館駐車場



丹沢山地①西丹沢(山北町・松田町)



主な樹木

ブナ、トウゴクヒメシャラ、シナノキ、ウラジログシ、アカガシ、コナラ、モトゲイタヤ、シロヤシオ、トウゴクミツバツツジ

特記

神奈川県生物多様性ホットスポット(白石峠～大室山～犬越路の自然林、畦が丸山のブナ林など)、かながわの美林50選

(加入道山)

西丹沢は落葉広葉樹が多く、全体的に明るい雰囲気のエリア。西丹沢主峰の檜洞丸のブナ林は「かながわの美林50選」に選ばれているが、ブナは大室山から菰釣山にかけての県境尾根にも多い。シロヤシオやトウゴクミツバツツジが咲く初夏は多くの登山者でにぎわう



(丹沢湖にそそぐ玄倉川)

アクセス

西丹沢登山のベースとなる西丹沢ビジターセンターへは、小田急線新松田駅から富士急湘南バスで終点下車、畦ヶ丸山頂まで約3時間、檜洞丸山頂まで約4時間

《Check》 大室山方面は2019年の台風の影響で通行できない箇所があるので注意



丹沢山地②東丹沢（秦野市・清川村）



（東丹沢県民の森）

塔ノ岳から丹沢山に至る稜線の東側は「東丹沢県民の森」に指定されている。堂平のブナ林は「かながわの美林50選」に選ばれているが、ブナは鍋割山周辺にも多い。四十八瀬川上流の「表丹沢県民の森」にはミズキの森、シデの森、アブラチャンの森など5つの森があり、静かな散策が楽しめる

《Check》 2019年の台風の影響で、札掛～宮ヶ瀬湖間は通行止めになっている（2021年3月現在）

アクセス

東丹沢の登山口の大倉へは小田急線渋沢駅から大倉行きバスで終点下車。表丹沢県民の森へは大倉から西山林道を歩いて約1時間、塔ノ岳山頂まで約3時間40分、鍋割山山頂まで約4時間

主な樹木

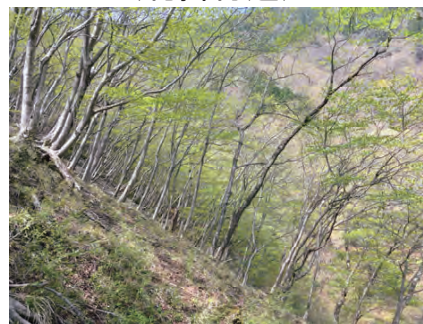
ブナ、オオイタヤメイゲツ、ヤマボウシ、モトゲイタヤ、モミ、ウラジログシ、アカガシ、ミズナラ、イヌシデ

特記

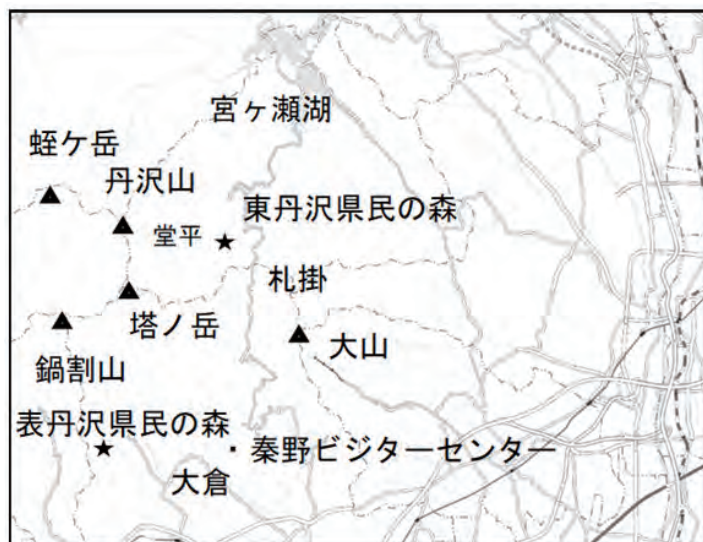
神奈川県生物多様性ホットスポット（植物・植生・昆虫・鳥類）、かながわの美林50選（札掛のモミ林、堂平のブナ林など）



（札掛付近）



（表丹沢県民の森）



特記について

「神奈川県生物多様性ホットスポット」:2015年にNPO法人神奈川県自然保護協会が県内各地の希少種やレッドリスト種の状況を調査し、生物多様性上重要な191地点をホットスポットとして選定したもの

「神奈川県里地里山保全地域」:神奈川県里地里山保全条例にもとづき知事が市町村長からの申し出により選定した地域。2021年1月現在、22か所が選定されている

「環境省重要里地里山」:環境省が生物多様性の保全など里山の自然環境の保全が適切に行われている500地域を選定したもの。神奈川県は28か所が選定されている

「かながわの美林50選」:1989年に神奈川県が選定

「かながわの探鳥地50選」:1991年に神奈川県が選定

「かながわの景勝50選」:1979年に神奈川県が選定

「みどりのパワースポット」「みどりの癒やしスポット」:2018年に(公財)かながわトラストみどり財団が「かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポット」を選定したもの。10か所のパワースポットと26か所の癒やしスポットが選定されている

「森林浴の森100選」:1986年に林野庁、緑の文明学会、地球環境財団が選定したもの

「日本の森100選」:日本森林インストラクターの会が2014年に選定したもの

「生活環境保全林100選」:1992年に林野庁が全国の生活環境保全林のなかから選定したもの

「関東の富士見百景」:2005年に国土交通省関東地方整備局が選定したもの

【参考】かながわの美林50選(1989年選定)

【林業上模範となるような森林】

①久野のスギ・ヒノキ林 ②底沢のスギ・ヒノキ林 ③芦ノ湖西岸のスギ・ヒノキ林 ④鍛冶屋のクスノキ林 ⑤諸戸山林のスギ・ヒノキ林 ⑥龍口入の自然観察の森とスギ林 ⑦西丹沢(県民の森)大正の森 ⑧西丹沢ユーシンの森 ⑨三竹のモウソウチク林 ⑩谷ヶのスギ林(谷ヶ共有林) ⑪森村山林のヒノキ林 ⑫丹沢大洞のケヤキ林 ⑬川尻穴川のスギ・ヒノキ林 ⑭津久井城跡のヒノキ林 ⑮狩野のスギ・ヒノキ林(中沼共有林) ⑯姫次のカラマツ林(相模原市緑区)

【人々に親しまれている森林】

⑰円海山周辺の森 ⑱大池こども自然公園の森 ⑲鶴岡八幡宮の森 ⑳仙元山の森 ㉑寒川神社の森 ㉒湘南海岸のマツ林 ㉓飯山白山森林公園の森 ㉔七沢森林公園の森 ㉕八菅山のスダジイ林 ㉖藤野のクヌギ・コナラ林 ㉗平塚八幡宮の森 ㉘吾妻山公園の森 ㉙大野台・大沼のクヌギ・コナラ林 ㉚谷戸山の森 ㉛五所宮八幡神社の森 ㉜三島社の森 ㉝三浦長浜の松林 ㉞神武寺の森 ㉟生田緑地の森

【文化財・学術上等で貴重な森林】

㊱大雄山のスギ林 ㊲檜洞丸のブナ林 ㊳箱根神社のヒメシャラ林 ㊴真鶴半島の森 ㊵東高根のシラカシ林 ㊶大和のシラカシ林 ㊷奥野大平のケヤキ林 ㊸丹沢札掛のモミ林 ㊹根岸旧海岸線の森 ㊺叶神社の森 ㊻大山のモミ林 ㊼高麗山の森 ㊽江ノ島の森 ㊾長興山鉄牛和尚寿塔周辺の森 ㊿丹沢堂平のブナ林

選外の広葉樹林

50選に選んだ広葉樹林のほかにも神奈川県内には美しい広葉樹林があるので紹介しておきたい。横浜市戸塚区の**ウイトリツヒの森**や**まさかりが淵市民の森**、横浜市泉区の**天王森泉公園**、相模原市南区の**東林ふれあいの森**は小さな森だが、雑木林の散策が楽しい。横浜市鶴見区の**獅子ヶ谷市民の森**や保土ヶ谷区の**陣ヶ下溪谷公園**も都会に残る貴重な広葉樹林だ。横浜市の旭区と保土ヶ谷区にまたがる**カーリットの森**は火薬工場跡地の雑木林で、今後の整備が待たれる。小さな雑木林はあちこちにあるので、自分のお気に入りの広葉樹林50選をつくるのもいいかもしれない。

広葉樹林は都市公園のなかにもある。横浜市旭区の**こども自然公園**は入口広場近くにコナラ・クヌギの林がある。**大磯城山公園**(大磯町)は旧三井財閥別荘跡地を庭園風に整備したもので、木の種類が多い。**新林公園**(藤沢市)、**鎌倉中央公園**(鎌倉市)、**吾妻山公園**(二宮町)には大きな広場があり、ピクニックに好適。綾瀬市の**長峰自然の森**や**落合キツツキの森**は散策路が整備されていて森林浴が心地よい。**東高根森林公園**(川崎市)には県の天然記念物のシラカシ林がある。逗子市の**池子の森自然公園**は旧海軍の弾薬庫跡地で、長いあいだ在日米軍の管理下にあったため自然がよく保たれている。尾根筋にはスダジイを中心とした常緑広葉樹、斜面部にはコナラなど二次林が発達しているが、整備中で森の中に入れないのが残念。横浜市の**三溪園**(有料)には市内随一の照葉樹林があるが、ここも森の中を歩くことはできない。**江の島**(藤沢市)の照葉樹林は景観的にすぐれているが、散策路は限られている。

山間地では、**生藤山**(相模原市)、**鐘ヶ嶽**(厚木市)、**明神ヶ岳**(南足柄市)にもきれいな広葉樹林がある。**飯山白山森林公園**(厚木市)の男坂や女坂の両側にはコナラやクヌギの林がある。秦野市の**蓑毛自然観察の森**は大山の山麓にある落葉広葉樹林で、入口に古民家を移築した緑水庵がある。**曾我丘陵**(小田原市)の新緑や紅葉も見応えがあるが、近年耕作放棄地が増えている。

なお、丹沢周辺では4月から11月にかけてヤマビルに注意が必要である。ヤマビルが増えたのは、大規模な造林や森林の荒廃などによってシカの生息環境が変化し、ヤマビルの寄生を受けたシカが里に移動したためといわれている。また、丹沢山地では2019年の台風被害により多くの登山道が現在も通行止めになっている。入山の際は事前に確認してほしい。一方、広葉樹林についていま最も懸念されるのがナラ枯れである。ナラ枯れはカシノナガキクイムシ(カシナガ)が大半のブナ科の木に潜入し、ナラ菌を繁殖させて樹木を枯死させるもので、県内では被害が急速に拡大している。

選外の広葉樹林

ウイトリッヒの森



まさがりが淵市民の森



天王森泉公園



飯山白山森林公園



養毛自然観察の森



落合キツツキの森



解説 神奈川の美しい広葉樹林50選について

ひと昔前まで、里山の広葉樹林は薪炭以外にも家具や農具の材料として広く活用されていた。落ち葉は堆肥にされ、林内の山菜やキノコは貴重な食材だった。いまはほとんど食べないが、ドングリは縄文人にとって重要な食糧であったという。いろいろな昆虫が生息する広葉樹の森は子どもの格好の遊び場であり、豊かな感性を養う自然の学校でもあった。また、広葉樹はさまざまな伝統工芸を生み出した。大山ごま、鎌倉彫、箱根の寄木細工は、神奈川県 대표적인伝統工芸技術である。このように広葉樹林は日本人の生活文化に密接に結びついてきたが、電気やガスが普及し、生活用品もプラスチックやビニール製品に取って代わると、人々は森との関わりを失ってしまった。さらに多くの自然林が人工林に転換されたことで、森に対する人々の認識も変化していったように思われる。

神奈川県では、経済成長の過程で多くの里山林が姿を消したが、県内各地には美しい広葉樹林がまだ残っている。そうした広葉樹林の多くは、地域の人々や市民ボランティアによって大切に守られている。その一方で、残念ながら荒廃した森も増え続けている。さらに、ナラ枯れの被害が急速に拡大するなど、神奈川県の広葉樹林はいま危機的な状況にある。そこで、県内に残る美しい広葉樹林を紹介し、広葉樹林を保全・再生する行動が広がることを願って「神奈川の美しい広葉樹林50選」を企画した次第である。

神奈川県の美林については、1989年に神奈川県が「かながわの美林50選」を発表している。これは、①林業上模範となるような森林(16か所)、②人々に親しまれている森林(19か所)、③文化財・学術上などで貴重な森林(15か所)を選定したもので、とくに②には広葉樹林も多く含まれている。だが、30年という時の経過のなかで、なかには環境が大きく変わってしまったものもある。大切に手をかけた森は私たちにさまざまな恵みを与えてくれるが、放置したり配慮のない利用を続けると、森林の生態系はたちまち変容してしまう。



選定委員会による現地調査（生藤山）



募集ポスター

今回の選定にあたっては、①神奈川県内にあるまとまりのある森林で、主に広葉樹で構成されているもの、②景観としての美しさや散策する楽しさなど次世代のために残すべき森林という基準を設け、広く県民の皆様に推薦を呼びかけた。その結果、総数で136件の推薦をいただき、それをベースに選定委員会において50か所の広葉樹林を選定した。選定にあたっては、植生学や植物・昆虫の専門家とともに現地調査を行った。生物多様性を重視したのは、さまざまな花や鳥や昆虫が生息する生物相の豊かな森が美しい森であると考えたからである。むろん、手入れの行き届いた人工林の森や庭園風に整備した公園の森もそれぞれ美しい。だが、自然林の良さは鳥や昆虫がいちばん良く知っている。それは人間も本来的に同じではないだろうか。できるだけ多くの人に広葉樹の森に足を運んでいただき、自然の恩恵を五感で感じてもらいたい。そのための簡単なガイドマップを作成したので、散策の際に活用していただければ幸いである。

「神奈川の美しい広葉樹林50選」選定までの経過

2019年12月～2020年2月 県民からの推薦期間

2020年4月～2020年11月 現地調査を実施

2020年7月 第1回選定委員会

2020年11月 第2回選定委員会

2021年1月 第3回選定委員会(決定)

「神奈川の美しい広葉樹林50選」選定委員会

委員長 小池文人(横浜国立大学環境情報研究院教授)

委員 村上雄秀(NPO法人神奈川県自然保護協会理事)

委員 岸一弘(茅ヶ崎野外自然史博物館顧問)

事務局 小池治(横浜国立大学地域連携推進機構連携研究員)

(協力)神奈川県環境農政局緑政部森林再生課

※本ガイドマップは、神奈川県大学発・政策提案制度採択事業「Woodyかながわ～広葉樹の活用による地域活性化と県民の健康増進」(2019～2020年度)の一部として制作したものです。報告書は横浜国立大学地域連携推進機構のホームページからダウンロードできます

主な参考文献

【一般的なもの】

- NPO法人神奈川県自然保護協会「神奈川の生物多様性ホットスポット」『かながわの自然』No.67、2018年2月
- NPO法人神奈川県自然保護協会『よみもの神奈川自然誌』神奈川新聞社、2006年
- 神奈川県『かながわの美林50選』1991年
- 神奈川県環境農政部「神奈川県の広葉樹林」2000年
- 神奈川県県土整備局「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針」2019年
- かながわトラストみどり財団「かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポット」『ミドリ』No.114、2019年
- 環境省「生物多様性上重要な里地里山 選定地分布 神奈川県」
- 国土交通省関東地方整備局「関東の富士見百景」
- 相模の蝶を語る会『かながわの蝶』神奈川新聞社、2000年
- 主婦の友社編『森林浴の森100選』主婦の友社、2010年
- 丹沢大山総合調査団「丹沢大山総合学術調査報告書」平岡環境科学研究所、2007年
- 宮脇昭ほか「神奈川県における社寺林の植物社会学的調査・研究」神奈川県教育委員会、1979年
- 【ガイドマップ作製に当たって参考にしたもの】
- 天下井恵「史跡称名寺境内保存運動」『六浦文化研究』8号、1998年
- NPO法人都筑里山倶楽部ホームページ「公園の生き物たち」
- NPO法人舞岡・やとひと未来ホームページ「生物多様性」
- 寺家ふるさと村四季の家ホームページ
- 横浜市「市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ」
- 横浜市環境創造局「円海山近郊緑地特別保全地区の保全管理計画書」2008年
- 横浜市環境創造局「横浜の源流域環境」2009年
- 横浜市環境創造局「新治市民の森保全管理計画」2011年
- NPO法人かわさき自然調査団「モニタリングで知る生田緑地の生物多様性(概要資料)」2017年
- 相模原市水みどり環境課「木もれびの森ガイド」
- NPO法人緑のダム北相模「相模湖 若柳・嵐山の森 森づくり計画書」2010年
- 県立津久井湖城山公園「自然環境調査報告書」概要版、2013年
- 横須賀市「横須賀身近な自然ガイドブック」
- 平塚市「平塚市自然環境評価書～西部丘陵地域の自然～(総合評価編)」2006年
- 神奈川県環境部「地域環境評価書―大磯丘陵地域―」1990年
- 市民団体「湘南の森」/平塚市「高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業結果報告書」2013年
- 鎌倉市「鎌倉市自然環境調査―概要版―」2003年
- 鎌倉市「(仮称)山崎・台峯緑地基本構想」
- 望月高明「鎌倉広町緑地―守った森を美しい森に―」『ミドリ』No.110、2018年
- 藤沢市「遠藤笹久保緑地保全計画」2017年
- 茅ヶ崎市「茅ヶ崎市自然環境評価調査 概要報告」2006年
- 神奈川県「小網代の森リーフレット」
- 竹内将俊「秦野市名古木里地里山における動物相調査の中間集計結果と今後に向けた取り組み」
- 横浜国立大学地域実践教育研究センター『里地里山の保全効果に関する学際的研究-中間報告-』2016年
- 秦野市「自然環境調査書―概要版―」
- 秦野市ホームページ「葛葉緑地」
- かながわトラストみどり財団「特集引地川源流の森 泉の森」『ミドリ』No.106、2017年
- 県立座間谷戸山公園ホームページ
- 葉山町「緑の基本計画改訂版」
- 中島浩一「高麗山県民の森『森林植生変遷史』」『神奈川県自然環境保全センター自然情報』第2号、2003年
- 中井町生物多様性調査会編「中井町生物多様性調査報告書」2014年
- 真鶴町お林保全協議会「お林保全方針」2018年
- 愛川町「八菅山いこいの森周辺の植物」
- その他、各施設のホームページを参考

広葉樹林を彩る草花



[illegible]

[illegible]



国立大学法人横浜国立大学
地域連携推進機構(産学・地域連携課)

2021年11月 発行

無断転載をお断りします